

たんぽぽ通信

Vol. 66 2015年3月10日発行 たんぽぽ薬局 五本木店

緑内障ってどんな病気？

緑内障は、眼圧の上昇などにより視神経が侵され、治療せずに放置してしまうと失明するかもしれない怖い病気です。片方の目に見えない部分があっても、もう片方の目がカバーしてしまう為、発見が遅れがちになります。40歳以上の日本人の20人に1人が緑内障と推定されており、病気に気付いていない人は、8～9割の割合です。（日本緑内障学会緑内障疫学調査）



定期検診をしましょう

緑内障は初期の自覚症状がほとんど無い為、病気の早期発見には検査がとても重要となります。緑内障の診断には、眼圧検査、眼底検査、視野検査などの検査が必要です。40歳を過ぎたら定期検診を受けるようにしましょう。

正常眼圧ってどのくらい？

日本人の平均眼圧は14.5 mmHgであり正常の眼圧は10～20 mmHgです。しかしこの範囲にあるからといって安心はできません。日本人では、眼圧が正常範囲であるにもかかわらず、緑内障になっている「正常眼圧緑内障」の患者さんが過半数を占めていることが判明しています。

日常生活において眼圧に影響する要因としては、年齢、



性別、近視や遠視の程度、体位、血圧などが挙げられます。また冬季に高く夏季には低くなりやすいことも知られています。

このように多くの因子が複雑に影響しあって、眼圧が決まっているのです。



緑内障と診断されたら・・・

緑内障によって損なわれた視神経は、残念ながら回復できません。ですからその治療は、病気の進行を遅らせることが目的となります。治療の方法には薬物療法、レーザー治療、手術などがありますが、緑内障のタイプや患者さんに適した治療方針を決定することが大切です。

点眼液について

多くの緑内障では、薬物療法が治療の基本となります。現在では、さまざまな薬効を持った点眼薬が発売されており、緑内障のタイプ・重症度・眼圧の高さなどに応じて処方されます。一種類の目薬だけの場合もあれば、複数を組み合わせて処方される場合もあります。



副作用を少なくして確実に効果を得る為には、点眼は1回に1滴、複数のときは5分以上時間を空けて使用するようにしましょう。

目薬は病状を維持するためのものです。悪化させない為にも、根気よく続けていくことが大切です。また、他の医療機関でお薬が処方されている場合、点眼薬と相性が良くない場合がありますので、医師又は薬剤師に相談して下さい。

たんぽぽ通信からのお知らせ

ご質問、ご意見などございましたらお近くのエムトウエムの調剤薬局にご相談ください。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

